

入会

福祉フォーラムへの入会について

福祉フォーラムは会員制の組織です。参加ご希望の方はご入会をお願いいたします。

年度会費

消費税増税に伴い、2014年度より、2,050円(税込)に年度会費を改定させていただきます。

入会方法

龍谷大学福祉フォーラムホームページのご入会フォームから手続き、
<https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/rec/welfare/admission/>
 または、福祉フォーラム事務局までお問い合わせください。

会員特典

1. フォーラム事業(講座、フォーラム等)に会員割引にて参加できます。
2. 福祉フォーラムの各種事業案内をお送りいたします。
3. 福祉フォーラム通信をお送りいたします。 その他

ご入会ご希望の方は事務局(☎077-543-7744)にご連絡ください。

※ FAXでのお申し込みも受け付けております。

※ 077-543-7771 までお申し込み必要事項をご記入の上、お送りください。

お問い合わせ

龍谷大学福祉フォーラム事務局 (REC 滋賀内)

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5

Tel 077-543-7744 Fax 077-543-7771

E-mail r-fukushi@ad.ryukoku.ac.jp

ホームページ <http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/fukushi/>

JR 琵琶湖線「瀬田」駅下車
 帝産バス「龍谷大学」行き(約8分)
 名神高速「瀬田西IC」(大阪方面から)
 「瀬田東IC」(名古屋方面から)より
 文化ゾーン方向へ車で約5分【駐車場有】
 ※駐車台数に限りがあります。



福祉フォーラム通信



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

Vol.18

発行日: 2014年3月24日 発行元: 龍谷大学福祉フォーラム

第11回専門セミナー

調査票調査(アンケート調査)の技法をマスターする

【日時】2014(平成26)年2月22日(土) 10:00~16:50

【会場】瀬田学舎 6号館 社会調査実習指導室

2月22日に「専門セミナー：調査票調査(アンケート調査)の技法をマスターする」が行われました。この講座はこの何年か開催しているのですが、今年の特徴は対象者を「初心者」の方に限定したことです。これまではそういう限定はしていなかったため、受講生の方の受講目的や予備知識などに少し違いがありました。そこで、今回、あえて限定をしての開催とし、そのことにより「はじめて調査票調査をやろうとされている方のサポート」に特化した講座を目指しました。

午前の「調査の設計から調査票の作成まで」は、私たちの生活のなかには「社会調査」があふれている、という話から始めました。大学生が行った社会調査やテレビや新聞などで見聞きする社会調査についての、映像なども交えながら軽い話からスタートしました。その後、量的調査(調査票調査=アンケート調査)と質的調査(インタビュー調査や観察調査)の違い、それぞれの長所や短所について説明した上で、調査票調査についてのくわしいレクチャーに移りました。そこでは、調査票調査のコツがレクチャーの中心になりました。

コツと言っても、言われてみればあたりまえのことばかりかもしれませんが、「はじめて調査票調査をやろうとされている方」には、新鮮だったようです。以下に、その時、お伝えしたコツをいくつか書いてみます。



- ・調査票の1ページ目の冒頭には、タイトル、目的、プライバシー保護、回答様式、調査の主体、等を示す。
- ・質問文には、あいまいな言葉を含んではいけない。
- ・質問文には、難しい言葉を使ってはいけない。
- ・質問文には、ステレオタイプの言葉を使ってはいけない。
- ・選択肢はせいぜい10個程度までにする。
- ・選択肢は相互排他的で網羅的に作る。
- ・二者択一は単純だがわかることは少ない。
- ・自由記述（自由回答）はやめたほうがいい。

このようにあたりまえといえはあたりまえのことですが、これがなかなかできないことでもあるので、具体的な例をあげながら詳しく説明をしました。

そして、調査倫理についての話をして午前の部は終わりとなりました。

午後の「データ入力から分析レポートのまとめ方まで」は、講義とPCを用いた情報処理の実習を行いました。まず、調査票調査の全体のプロセス、標本抽出の重要性について学びました。次に、エディティング（誤記入や記入漏れのチェック）、コーディング（欠損値のあつかい）の作業を学びました。その上で、実際に個票をもちいて、その回答をエクセルに入力しました。その後、



エクセルのピボットテーブルとSPSSを使って、集計結果の出し方や基本的な図表の作成を学びました。具体的には、度数分布表、クロス集計表、円グラフ、百分率積み上げグラフです。ここでは、データ集計におけるSPSSの便利さを実感しました。この実習部分では、受講者の方々はお互いに協力し合いながら作業をすすめました。そして最後に、調査レポートの作成の仕方、データの適切な保管と破棄について理解して、午後の部を終了しました。

受講された方（4名）は、行政の福祉職の方、自由業の方など、さまざまな職業の方でした。受講目的もそれぞれだとは思いますが、みなさんととても熱心に受講してくださいました。以下に受講生の方からいただいた授業を受けての感想を示したいと思います。



（第11回専門セミナー講師：龍谷大学社会学部教授 工藤保則・津島昌寛）

第11回専門セミナー 受講頂いた方々からの声

- 勉強になりました。サンプル資料をたくさんいただきましたので、作成時に参考にさせていただきます。
- 次のステージ（今回は初心者対象）の講座をお願いできればうれしい。少人数のよさを感じました。
- アンケートを作成する際に実は多くのきまりごとがあることを教えて頂いた。今後、自分の研究に使うアンケート作成には充分留意していきたいと思います。
- ソフト使用による分析手法を初めて体験でき有意義な一日でした。本日はどうもありがとうございました。
- 統計分析の入門講座（アンケートの分析以降や他の手法）の企画を希望します。